

1 ページの記述形式について

納品するページについて、次の形式でHTMLが記述されていること。

(任意で記述できる箇所は、[ページのタイトル]及び[本文]の箇所のみとなる)

※ 注意

- ・ページタイトルは40字以内にまとめること。なお、北海道のホームページではタイトルの末尾に組織名を自動表示しているため、ページタイトルには組織名に係る記述は行わないこと。
- ・CMSへの登録時にページ共通のヘッダ・フッタをシステム側で付加するため、納品物にはこれらの記述は行わないこと。

```
<!DOCTYPE HTML>
<HTML>
  <HEAD>
    <TITLE>[ページのタイトル]</TITLE>
  </HEAD>
  <BODY>
    [本文]
  </BODY>
</HTML>
```

2 スタイルシート及びJavaScriptの利用について

納品するページについて、次に示す共通スタイルシートが適用されることを前提に作成すること。

共通スタイルシートは原課管理の全ページに適用されるものであり、それ以外のスタイルシート、及びJavaScriptの利用については原則として禁止する。

[共通スタイルシート]

・本庁

```
<link href="/css/style.css" media="all" rel="stylesheet" />
<link href="/css/style-o.css" media="all" rel="stylesheet" />
```

・本庁以外

```
<link href="https://www.pref.hokkaido.lg.jp/css/style.css" media="all" rel="stylesheet" />
<link href="https://www.pref.hokkaido.lg.jp/css/style-o.css" media="all" rel="stylesheet" />
<link href="/css/style.css" media="all" rel="stylesheet" />
```

但し、納品内容の性質上、やむを得ず独自のスタイルシートを使う必要がある場合は、以下の条件を全て了承の上であれば、使用を許可する。

- (1) インラインスタイルまたは内部スタイルシートとすることでページ本文中に直接記述、または外部スタイルシートを作成し使用する場合は以下の記述とすること。
- (2) 編集操作は全て原課責任で行うこと。
(CMSには自動HTML校正機能がある。独自に設定したスタイルシートの記述も置換される可能性があるが、原則としてシステム側での対応は行わない)

外部スタイルシートを使用する場合

例

「<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/tkk/test/sample.css>」を使用する場合

※納品フォルダーが「test」の場合。

⇒ `<link rel="stylesheet" media="all" href="/sample.css">`と記述して納品する。

3 リンクの記述方法について

CMS で管理されているページ及びファイルへリンクする場合、サイトに合わせたパスで記載すること。

納品フォルダー内の場合

例 1

「<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/tkk/aaa/sample.html>」に対しリンク設定する場合

※納品フォルダーが「aaa」の場合。

⇒ `～～`と記述して納品する。

例 2

「<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/tkk/aaa/sample.pdf>」に対しリンク設定する場合

※納品フォルダーが「aaa」の場合。

⇒ `～～`と記述して納品する。

※登録の都合上、ファイル名の前に「/」を記載すること。

同サイト内の場合

例 1

「<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/tkk/bbb/sample.html>」に対しリンク設定する場合

※既存フォルダーが「bbb」の場合。

⇒ `～～`と記述して納品する。

例 2

「<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/tkk/bbb/sample.pdf>」に対しリンク設定する場合

※既存フォルダーが「bbb」の場合。

⇒ `～～`と記述して納品する。

他サイト(他振興局など)の場合

例 1

「<https://www.〇〇.pref.hokkaido.lg.jp/ss/tkk/ccc/sample.html>」に対しリンク設定する場合

⇒ `～～`と記述して納品する。

例 2

「<http://www.〇〇.pref.hokkaido.lg.jp/ss/tkk/ccc/sample.pdf>」に対しリンク設定する場合

⇒ `～～`と記述して納品する。

4 ファイル名について

ページ、ファイル、画像及びフォルダの名前について、以下の文字は使用しないこと。

! " # \$ % & ' () = ^ ~ ¥ | @ ` [] { } ; + : * , < > / ?、半角スペース、マルチバイト文字

5. ファイル形式について

ファイル及び画像について、以下に示す拡張子のファイルであること。

[ファイル]

cab / csv / doc / docx / dot / eps / exe / jtd / lzh / odt / pdf / ppt / pptm / pptx / rtf / txt / xdw / xls / xlsx / xml / zip

[画像]

bmp / gif / jpe / jpeg / jpg / png / tif

6 ファイル容量について

ファイル及び画像の容量について、ファイルは1MB、画像は500KBまでを目安とすること。

なお、必要に応じて目安の値を上回っても良いが、最大でも3MBまでとすること。

またCMSではディスククォータを設定しており、原課に割り当てられたクォータ値を超えないようにすること。

7 フォルダ構成について

ページ、ファイル及び画像を格納するフォルダ構成については、ルートを含めて最大9階層までとすること。

また、1フォルダ内に格納するページ、ファイル及び画像の数は、それぞれ300以内とすること。

例

「/ss/tkk/gaibu/itaku.html」
⇒「ss」から「gaibu」までで3階層

8 HTML タグの使用制限について

フレーム構成のページの作成、入力フォームのあるページの作成、動画ファイルの埋め込みについては原則として禁止であるため、これらの作成に係るHTMLタグは使用しないこと。

なお、インラインフレームによる外部サービス(例 GoogleMap や YouTube 等)の利用について禁止はしていないが、利用にあたってはそれらのサービスが利用できない閲覧環境に対して同等の情報を提供できるような代替手段を必ず提供すること。

9 テーブルの使用について

ページのレイアウトの用途でテーブルタグを使用することは禁止する。

テーブルは、表として表現する必要がある情報のみについて使用すること。

但し、テーブル内に更に別のテーブルを入れる構造とすることは禁止する。

10 アクセシビリティ対応について

アクセシビリティへの対応として、「JIS X 8341-3:2016」の適合レベル AA に準拠するようにページを作成すること。

また、別記第3号様式を用いてセルフチェックを行い、その結果を記載した別記第3号様式を広報広聴課へ提出すること。

なお、セルフチェックにあたっては、目視によるチェックだけではなく、総務省提供の「miChecker」等のツールを併用して実施することが望ましい。

11. 手順書の作成について

納品するページが、CMS登録後に原課にて更新されていくものである場合、円滑に更新作業を進められるよう、更新方法について整理した手順書等を作成した方が望ましい。

なお、手順書の体裁については、原課と委託業者間で協議すること。